

平成23年度

「埼玉青少年の意識と行動調査」

報 告 書

埼 玉 県

# 目次

---

## 第1章 調査の概要

1 調査目的	3
2 調査設計	3
3 調査項目	3
4 回収結果	3
5 標本抽出方法	4
6 報告書の見方	5
7 時系列比較について	5
8 回答者の属性	
(1) 満10歳～14歳	6
(2) 満15歳～30歳	7
(3) 保護者	10

## 第2章 満10歳～14歳調査の結果

### 1 家庭や家族のことについて

(1) しつけの厳しさに対する意識 (問6)	15
(2) 親との信頼感 (問7)	17
(3) 親に対してもつ感情 (問8)	20
(4) 親との会話 (問9)	23
(4-1) 親との会話が少ない理由 (問10)	24
(5) おこづかいの額 (問11)	26
(6) おこづかいの額の満足度 (問12)	27
(7) 家庭生活の中での役割 (問13)	28
(8) 家庭・家族の満足度 (問14)	30
(9) 家庭での不満や不安 (問15)	32
(10) 家出したいと思った経験の有無とその理由 (問16)	34

### 2 学校生活やおけいごとについて

(1) 学校生活の満足度 (問17)	36
(2) 学校に行きたくないと思った経験 (問18)	39
(2-1) 学校に行きたくないと思った理由 (問19)	40
(3) 仲間はずれにされたりいじめられた経験の有無と対応 (問20)	42
(4) 部(クラブ)活動に参加する日数 (問21)	44
(5) おけいごとへの参加状況 (問22)	45
(5-1) おけいごとをする日数 (問23)	47
(6) 学校以外での学習時間 (問24)	48

---

<b>3 価値観について</b>	
(1) 価値観 (問25) .....	49
<b>4 将来の希望について</b>	
(1) 進学意向 (問26) .....	52
(2) 将来の夢や生きがい (問27) .....	53
(3) 将来つきたい職業 (問28) .....	55
(4) 夢や希望をかなえるためにやらなければいけないこと (問29) .....	58
<b>5 余暇や友人関係について</b>	
(1) テレビ視聴時間 (問30) .....	60
(2) テレビゲームをする頻度 (問31) .....	61
(3) 読書量 (問32) .....	62
(4) 携帯電話の保有状況と保有理由 (問33) .....	63
(4-1) フィルタリングサービスの利用状況 (問34) .....	65
(4-2) 携帯電話の利用のルール (問35) .....	66
(5) インターネットの利用状況 (問36) .....	67
(6) インターネットを通じて知り合った人とのつきあい (問45) .....	69
(7) 休日の過ごし方 (問37) .....	70
(7-1) 休日の友達との過ごし方 (問38) .....	73
(8) 生活上の経験・海や山などで遊んだ経験 (問39) .....	75
(9) 仲のよい友達の数 (問40) .....	77
(10) 友達とのつきあい方 (問41) .....	78
<b>6 悩みごとなどについて</b>	
(1) 悩みごとや心配ごと (問42) .....	79
(2) 悩みごとの相談相手 (問43) .....	81
<b>7 青少年の非行などについて</b>	
(1) 人の命を奪いたくなる・自分の命を絶つという気持ちに関する意識 (問44) .....	83
(2) 非行・問題行動の経験 (問46) .....	85
<b>8 恋愛や結婚観について</b>	
(1) 結婚についての意識 (問47) .....	87

# 目次

---

## 9 地域・地域活動について

(1) 地域への愛着度 (問48) .....	88
(2) 近所の人へのあいさつ (問49) .....	89
(3) 家族以外の人からしかられること (問50) .....	90
(4) 地域活動への参加状況 (問51) .....	91
(5) 参加してみたいボランティア活動 (問52) .....	93

## 10 社会一般のことについて

(1) 今後の社会への希望 (問53) .....	94
---------------------------	----

## 第3章 満15歳～30歳調査の結果

### 1 家庭や家族のことについて

(1) 親に対してもつ感情 (問11) .....	99
(2) 親との信頼感 (問12) .....	104
(3) 親との会話 (問13) .....	108
(3-1) 親との会話が少ない理由 (問14) .....	110
(4) 家庭・家族の満足度 (問15) .....	112
(5) おこづかいの額 (問16) .....	114
(6) おこづかいの額の満足度 (問17) .....	115
(7) 家庭での不満や不安 (問18) .....	116
(8) 子供のころの家庭生活 (問19) .....	119

### 2 学校生活などについて

(1) 学校に通う理由 (問20) .....	122
(2) 学校生活の満足度 (問21) .....	125
(3) 学校以外での学習時間 (問22) .....	130

### 3 職場や職業について

(1) 働く理由 (問23) .....	131
(2) 希望する職場 (問24) .....	133
(3) 就職していない理由 (問25) .....	136
(4) 転職意向・理由 (問26) .....	137

### 4 価値観について

(1) 価値観 (問27) .....	138
---------------------	-----

---

## 5 将来の希望などについて

- (1) 将来の夢や生きがい (問28) ..... 143
- (2) 将来つきたい職業 (問29) ..... 145
- (3) 夢や希望をかなえるためにやらなければいけないこと (問30) ..... 148

## 6 余暇や友人関係について

- (1) テレビ視聴時間 (問31) ..... 150
- (2) テレビゲームをする頻度 (問32) ..... 152
- (3) 読書量 (問33) ..... 153
- (4) 携帯電話のメール送信頻度 (問34) ..... 154
- (5) 携帯電話のメール送信先 (問35) ..... 155
- (6) インターネットの利用状況 (問36) ..... 158
- (7) インターネットの利用による生活の変化 (問37) ..... 160
- (8) 携帯電話の利用料金 (問38) ..... 163
- (9) フィルタリングサービスの利用状況 (問39) ..... 164
- (10) 携帯電話の利用のルール (問40) ..... 164
- (11) インターネットを通じて知り合った人とのつきあい (問41) ..... 165
- (12) 休日の過ごし方 (問43) ..... 166
- (13) 友達とのつきあい方 (問44) ..... 169

## 7 悩みごとなどについて

- (1) 悩みごとや心配ごと (問48) ..... 171
- (2) 悩みごとの相談相手 (問49) ..... 174

## 8 青少年の非行などについて

- (1) 非行・問題行動の経験 (問42) ..... 177
- (2) 人の命を奪いたくなる・自分の命を絶つという気持ちに関する意識 (問55) ..... 178
- (3) 非行防止のための条例の規定の認知度 (問56) ..... 180
- (4) 青少年の非行の原因 (問57) ..... 183

## 9 恋愛や結婚観について

- (1) 恋愛関係にある異性とのつきあい方 (問45) ..... 185
- (2) 恋愛関係にある異性との性的な関係について (問46) ..... 188
- (3) 結婚についての意識 (問47) ..... 190

# 目次

---

## 10 地域・地域活動のことについて

(1) 地域への愛着度 (問50) .....	192
(2) 近所の人へのあいさつ (問51) .....	194
(3) 地域活動への参加状況 (問52) .....	196
(4) 参加経験のあるボランティア活動 (問53) .....	198
(5) ボランティア活動に興味を持った理由 (問54) .....	200

## 11 社会一般のことについて

(1) 慣習やモラルに関する意識 (問58) .....	202
(2) 今後の社会への希望 (問59) .....	205

## 第4章 保護者調査の結果

### 1 家庭や家族のことについて

(1) 子どもと一緒にすること (問9) .....	211
(2) 平日子どもと過ごす時間 (問10) .....	213
(3) 子どもの気持ちを理解していると思うか (問11) .....	214
(4) 子どもを自然の多いところへ連れて行く頻度 (問12) .....	215
(5) 3歳までの保育状況 (問13) .....	216
(6) フィルタリングサービスの利用状況 (問14) .....	218
(7) 携帯電話の利用のルール (問15) .....	219
(8) 携帯電話の利用料金 (問16) .....	220
(9) 子どものことで知っていること (問17) .....	221
(10) しつけの厳しさに対する意識 (問18) .....	225
(11) 教育やしつけについて心がけていること (問19) .....	226
(12) 家庭・家族の満足度 (問20) .....	232

### 2 子育ての方針や悩みについて

(1) 子どものしつけや教育での悩み・不安 (問21) .....	234
(2) 子どものしつけや教育で参考とするもの (問22) .....	236
(3) 子どもを持ち、育てることの意味 (問23) .....	238
(4) 子育てへの考え方 (問24) .....	240
(5) 子どもに望むこと (問25) .....	242
(6) 夢や希望をかなえるためにやらなければいけないこと (問26) .....	244

### 3 人生観や性別役割感について

(1) 子育てに関する役割分担 (問28) .....	246
(2) ワーク・ライフ・バランスに関する意識 (問29) .....	248
(3) 生きがいを感じること (問30) .....	249

---

(4) 未成年者の非行に関する意識 (問31) .....	251
(5) 小・中学校の学校教育で重要なこと (問32) .....	256
(6) 子育てや教育の現状に対する問題意識 (問33) .....	257
(7) 子どものころの家庭生活 (問34) .....	259
(8) 価値観 (問35) .....	261
<b>4 学校や地域との関わりについて</b>	
(1) 学校行事への出席状況 (問36) .....	264
(2) 子どもが通っている学校の教育の満足度 (問37) .....	265
(3) 地域のことで感じられること (問38) .....	266
(4) 地域活動への参加状況 (問39) .....	270
(5) 素行の悪い未成年を見かけたときの対応 (問40) .....	273
<b>5 青少年の健全育成について</b>	
(1) 人の命を奪いたくなる・自分の命を絶つという気持ちに関する意識 (問41) .....	274
(2) 非行防止のための条例の規定の認知度 (問42) .....	276
(3) 青少年の非行の原因 (問43) .....	278
(4) 少年非行を減少・抑止するための対策 (問44) .....	280
<b>第5章 満10歳～14歳調査・満15歳～30歳調査・保護者調査 共通質問の傾向分析</b>	
1 家庭や家族のことについて .....	285
2 学校生活などについて .....	289
3 価値観について .....	290
4 将来の希望について .....	291
5 余暇や友人関係について .....	293
6 悩みごとなどについて .....	297
7 青少年の非行などについて .....	298
8 恋愛や結婚観について .....	300
9 地域・地域活動について .....	301
10 社会一般のことについて .....	302
<b>(資料) 使用した調査票</b>	
平成23年度 埼玉青少年の意識と行動調査① 対象：「満10歳～14歳」 .....	305
平成23年度 埼玉青少年の意識と行動調査② 対象：「満15歳～30歳」 .....	309
平成23年度 埼玉青少年の意識と行動調査③ 対象：「保護者」 .....	313

# 第1章 調査の概要



## 1 調査目的

この調査は、本県における青少年の生活実態、価値観、満足度などを年齢段階ごとに調査し、過去の調査結果との比較分析を行うことにより、現在の青少年の意識と行動の変化を把握するとともに、青少年行政の基本的かつ総合的な施策の樹立を図るための基礎資料を得るために実施した。

## 2 調査設計

- (1) 調査地域 埼玉県全域
- (2) 調査対象
  - ① 県内に在住する平成23年4月1日現在で満10歳～14歳の男女
  - ② 県内に在住する平成23年4月1日現在で満15歳～30歳の男女
  - ③ 調査対象①の保護者
- (3) 標本数 ①②③各1,200サンプル、計3,600サンプル
- (4) 標本抽出方法 住民基本台帳を用いた層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送配布－訪問回収法
- (6) 調査期間 平成23年7月22日（金）～8月14日（日）
- (7) 調査実施機関 株式会社エスピー研

## 3 調査項目

- (1) 満10歳～14歳
  - ① 家庭や家族のことについて
  - ② 学校生活やおけいごごとについて
  - ③ 価値観について
  - ④ 将来の希望について
  - ⑤ 余暇や友人関係について
  - ⑥ 悩みごとなどについて
  - ⑦ 青少年の非行などについて
  - ⑧ 恋愛や結婚観について
  - ⑨ 地域・地域活動について
  - ⑩ 社会一般のことについて
- (2) 満15歳～30歳
  - ① 家庭や家族のことについて
  - ② 学校生活などについて
  - ③ 職場や職業について
  - ④ 価値観について
  - ⑤ 将来の希望について
  - ⑥ 余暇や友人関係について
  - ⑦ 悩みごとなどについて
  - ⑧ 青少年の非行などについて
  - ⑨ 恋愛や結婚観について
  - ⑩ 地域・地域活動について
  - ⑪ 社会一般のことについて
- (3) 保護者
  - ① 家庭や家族のことについて
  - ② 子育ての方針や悩みについて
  - ③ 人生観や性別役割感について
  - ④ 学校や地域との関わりについて
  - ⑤ 青少年の健全育成について

## 4 回収結果

- (1) 満10歳～14歳 標本数 1,200 有効回収数 954 (有効回収率 79.5%)
- (2) 満15歳～30歳 標本数 1,200 有効回収数 818 (有効回収率 68.2%)
- (3) 保護者 標本数 1,200 有効回収数 955 (有効回収率 79.6%)

## 5 標本抽出方法

### (1) 層化・標本数の配分

調査地域を表1に示す3ゾーン10地域に層化し、各地域の平成23年1月1日現在の総人口に対して、60地点を比例配分した。

表1 地域区分および配分地点数・抽出人数

地 域		該当市町村	総人口(人)	配分地点数 (抽出人数)
南 部	南 部	川口市、蕨市、戸田市、鳩ヶ谷市	775,923	6地点(120人)
	南 西 部	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町	693,584	6地点(120人)
	東 部	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町	1,125,395	9地点(180人)
	さいたま	さいたま市	1,232,668	10地点(200人)
圏 央 道	県 央	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町	536,867	4地点(80人)
	川越比企	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村	798,197	7地点(140人)
	西 部	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市	791,743	7地点(140人)
	利 根	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、宮代町、白岡町、杉戸町	668,508	6地点(120人)
県 北	北 部	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町	529,454	4地点(80人)
	秩 父	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町	111,210	1地点(20人)
計			7,263,549	60地点(1,200人)

(注) 市町村および総人口はいずれも平成23年1月1日現在

### (2) 第1次抽出

①各地域の市町村の町丁目・大字を第1次抽出の単位とし、2地点以上の調査地点が配分された地域については、地域の総人口を調査地点数で除した抽出間隔を設定し、等間隔抽出法により10地域から60地点を抽出した。

②抽出にあたっての各層内の配列順序は、市区町村については日本工業規格(JIS X 0402)が定める市区町村コード順を、町丁目・大字については「埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告(平成23年1月1日現在)」の並び順を使用した。

### (3) 第2次抽出

第1次抽出により抽出した60地点ごとに、各地点の住民基本台帳から、等間隔抽出法により、1地点につき、調査対象①の該当者20人と調査対象②の該当者20人を抽出した。

調査対象③については、調査対象①の抽出者1,200人の各保護者のうちの1人に調査を依頼することとした。

## 6 報告書の見方

- (1) この調査は、調査対象①～③について各1種類の調査票を用意して実施した。調査票中、2つまたは3つの調査対象に共通あるいは類似の質問をしているものがある。この共通あるいは類似の質問については、参照の便宜を図るため、この報告書の第2章以降において、質問文の枠内の末尾に、他の調査対象で共通あるいは類似の質問がある旨の表示と、この報告書内に掲載しているページ番号を示してある。
- (2) 回答の比率(%)は、各質問の回答者数を基数(n)として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで示した。したがって、選択肢から回答を1つだけ選ぶ質問であっても、各選択肢の比率を合計すると100.0%ちょうどにならず、最大±0.3%の範囲で増減することがある。
- (3) 選択肢から複数の回答を求める質問では、各選択肢の比率を合計すると、通常100.0%を超える。
- (4) 性別、年齢別、職業別などの属性別のクロス集計による分析では、属性についてたずねた質問に無回答であった回答票も有効として扱い、全体の集計結果に含めている。しかし、属性をたずねた質問に無回答だった回答票のクロス集計結果は、報告書中の図表では割愛している。したがって、クロス集計の図表で示している属性すべての基数(n)を加算しても、全体の基数には必ずしも一致しない。

## 7 時系列比較について

今回の調査結果の時系列変化をみるため、質問によっては、同様の目的で平成13年度と平成18年度に行われた調査と共通あるいは類似の質問の調査結果を掲載し、比較を行った。比較の対象とした調査の概要は以下の表2のとおりである。

表2 この報告書で時系列比較を行った調査の概要

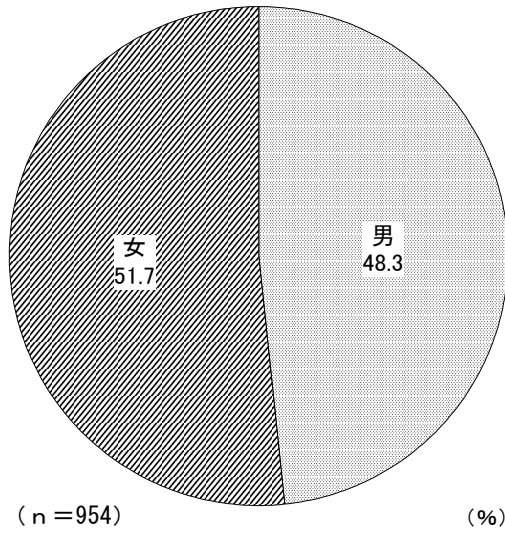
調査名称	平成13年度埼玉青少年の意識と行動調査	平成18年度埼玉青少年の意識と行動調査
調査対象	平成13年4月1日現在の ① 満10～14歳の男女 ② 満15～24歳の男女 ③ ①の保護者	平成18年4月1日現在の ① 満10～14歳の男女 ② 満15～24歳の男女 ③ ①の保護者
有効回収数	① 991票 ② 612票 ③ 1,011票	① 931票 ② 761票 ③ 951票
調査時期	①③平成13年10月5日～10月26日 ② 平成13年12月17日～14年1月31日	平成18年10月5日～10月23日

なお、今回調査の調査対象②は満15歳～30歳の男女を調査対象としており、表2で示した2つの調査と調査対象が異なる。そのためこの調査区分については、単純集計結果の時系列比較を行わないこととし、「高校生」「大学生」の属性についてのみ時系列比較を行った。

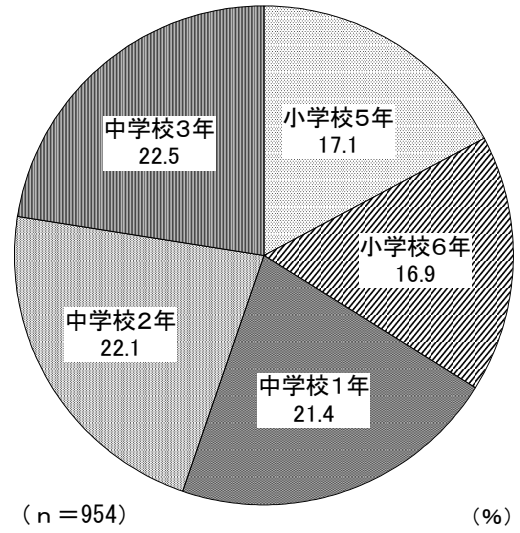
## 8 回答者の属性

### (1) 満10歳～14歳

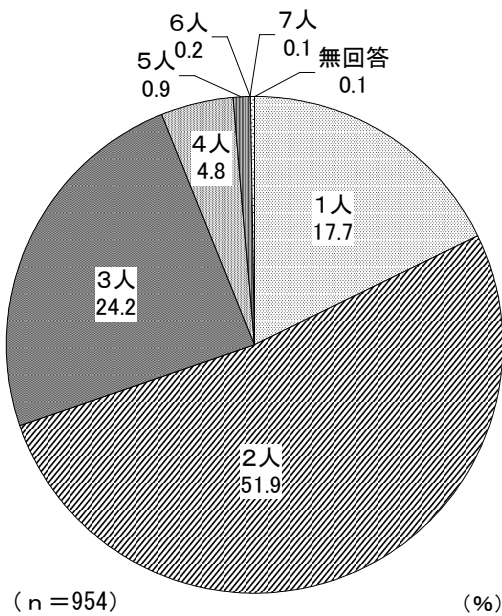
#### ①性別



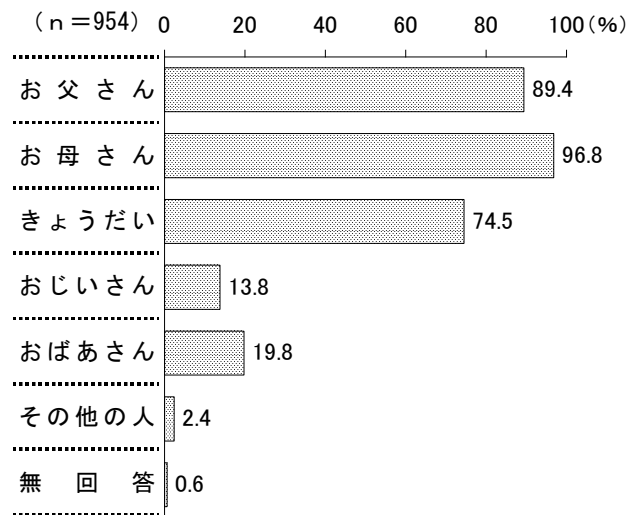
#### ②学年



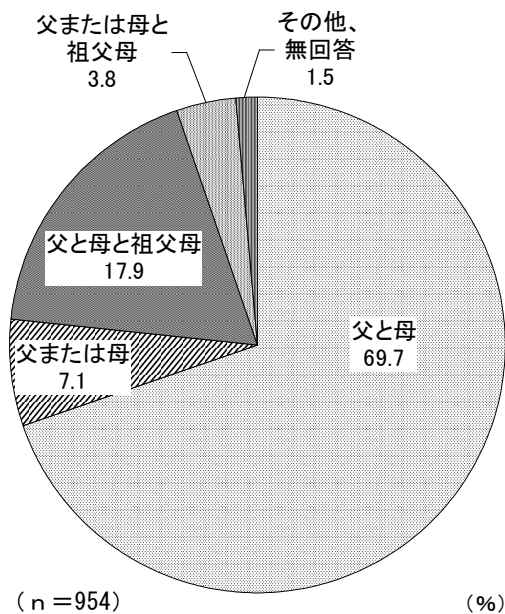
#### ③きょうだいの人数



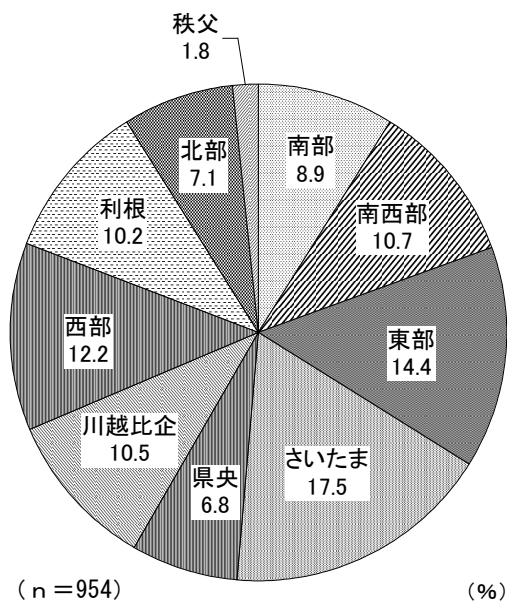
#### ④同居家族 (複数回答)



⑤家族構成（④の回答に基づく分類）

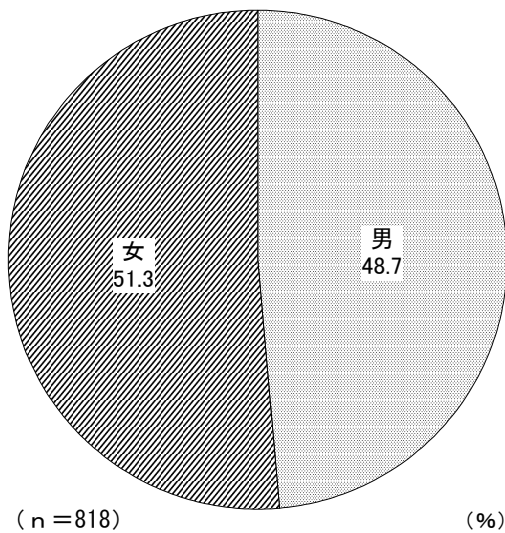


⑥居住地

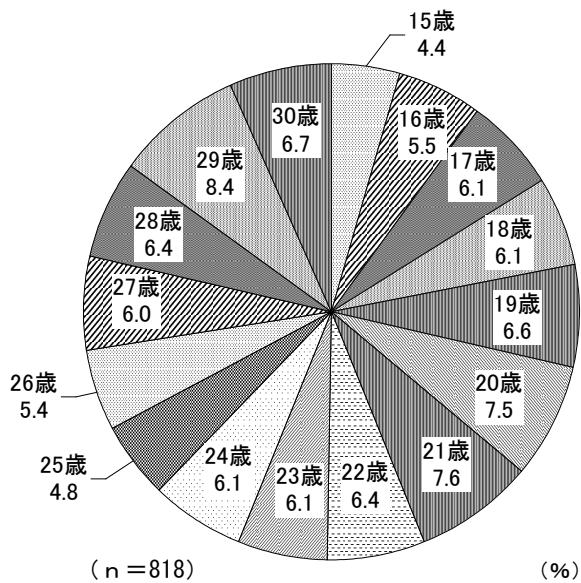


(2) 満15歳～30歳

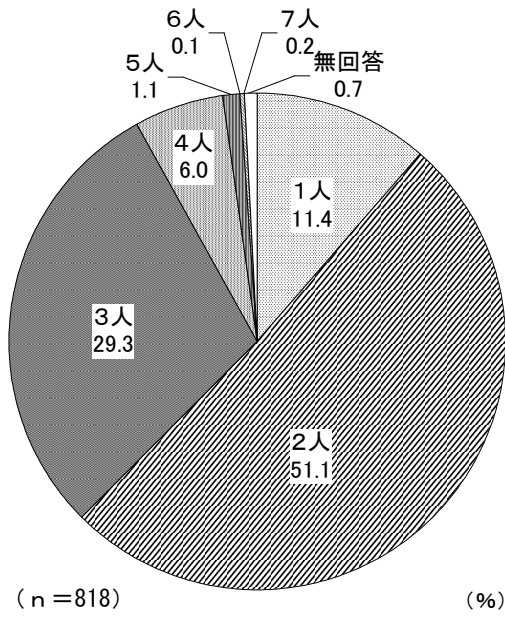
①性別



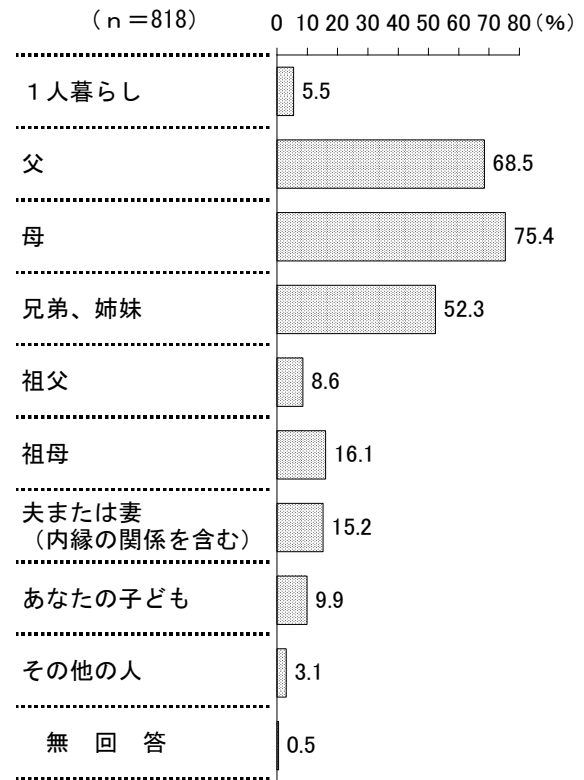
②年齢



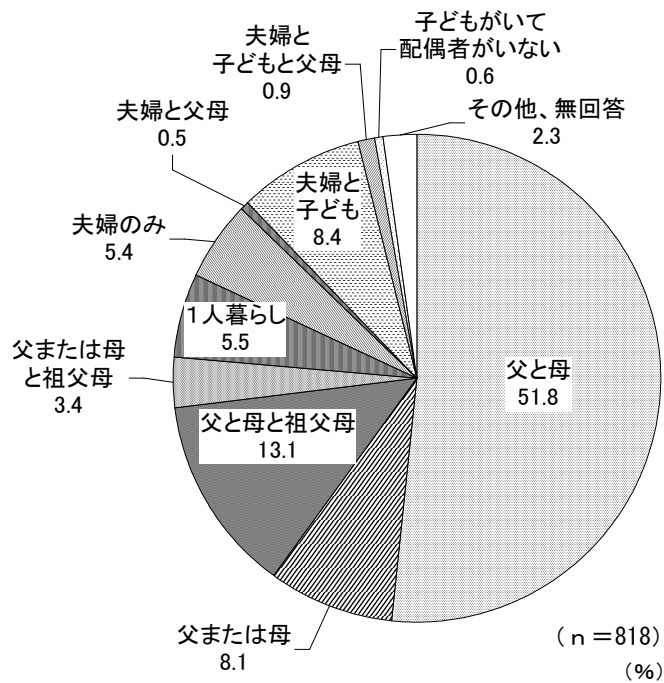
③きょうだいの人数



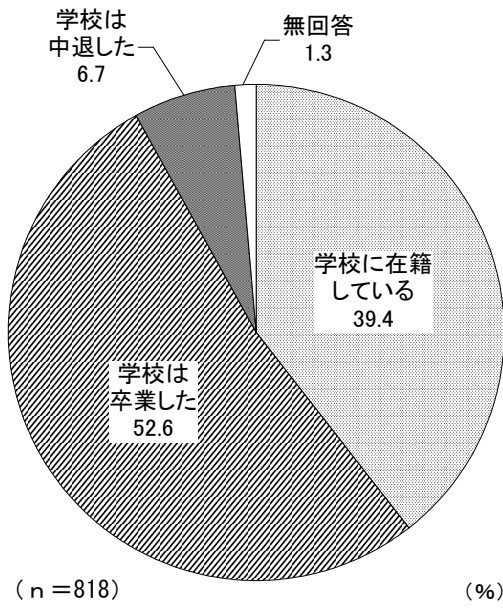
④同居家族（複数回答）



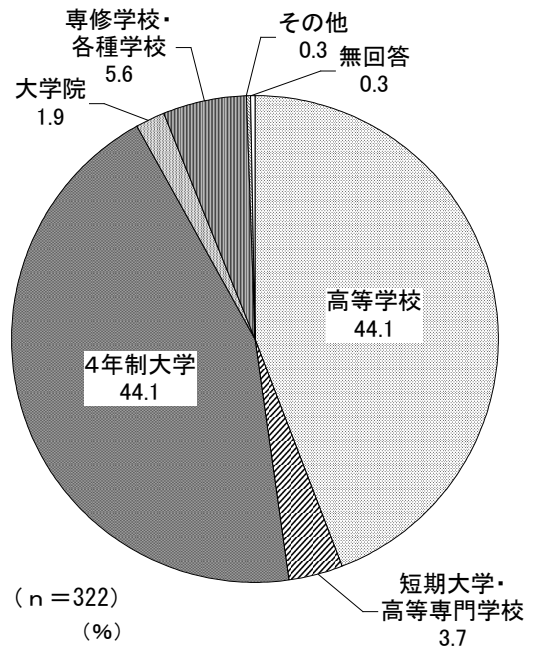
⑤家族構成（④の回答に基づく分類）



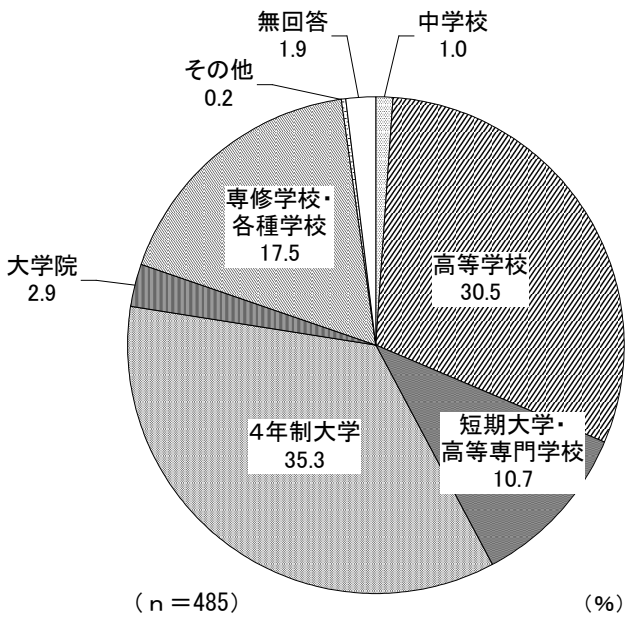
⑥学校の在籍状況



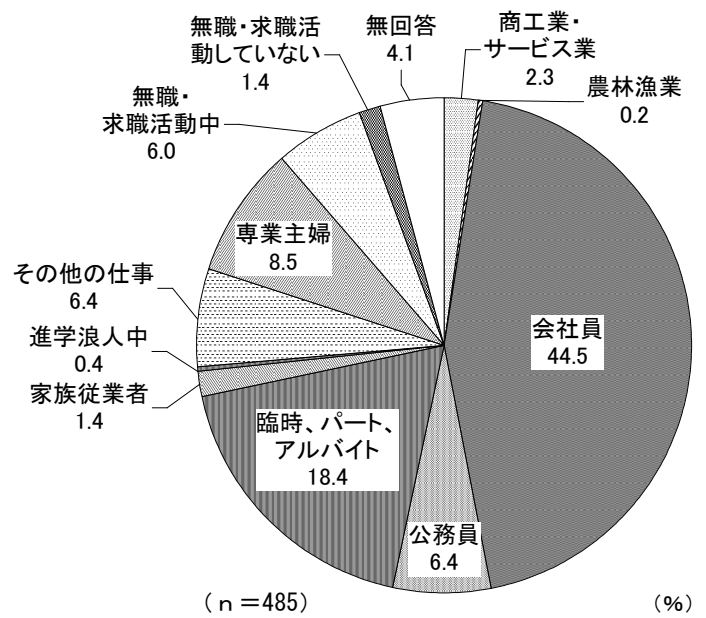
⑥-1 在籍している学校



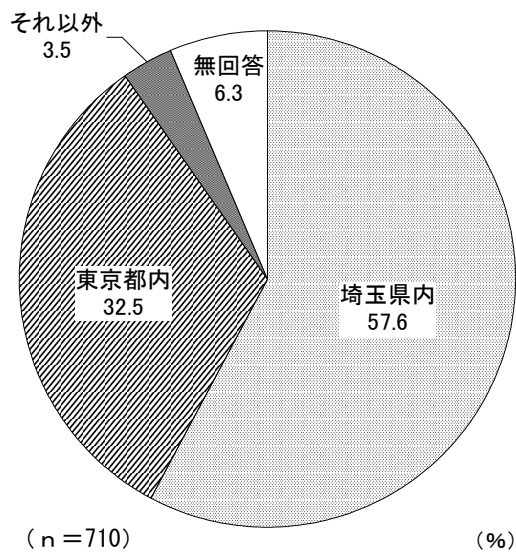
⑥-2 最終学歴



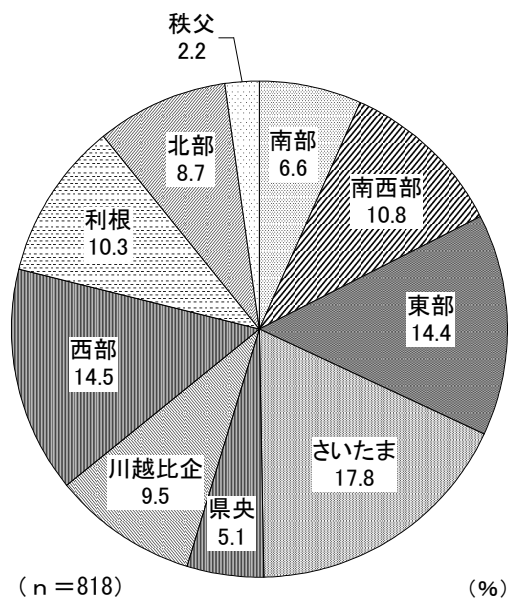
⑥-3 職業



⑦通勤・通学先

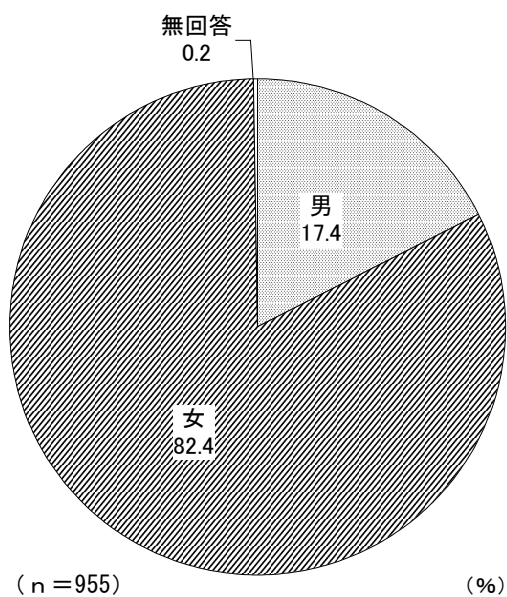


⑧居住地域

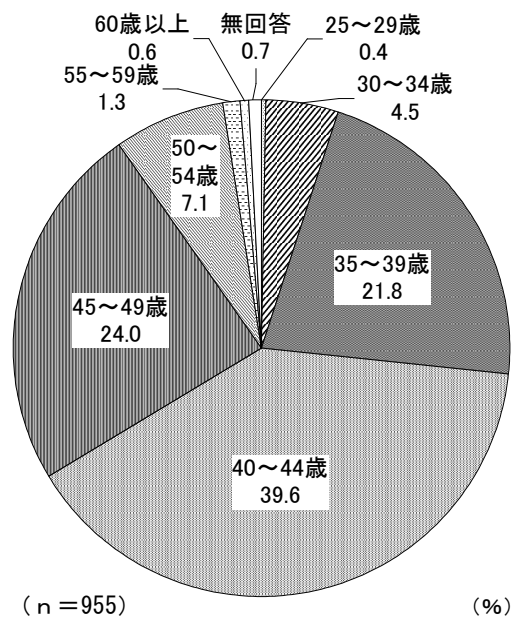


(3) 保護者

①性別

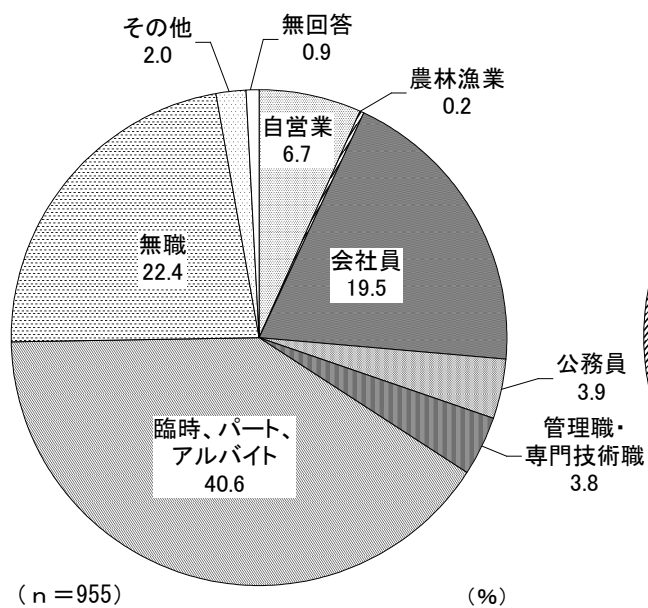


②年齢

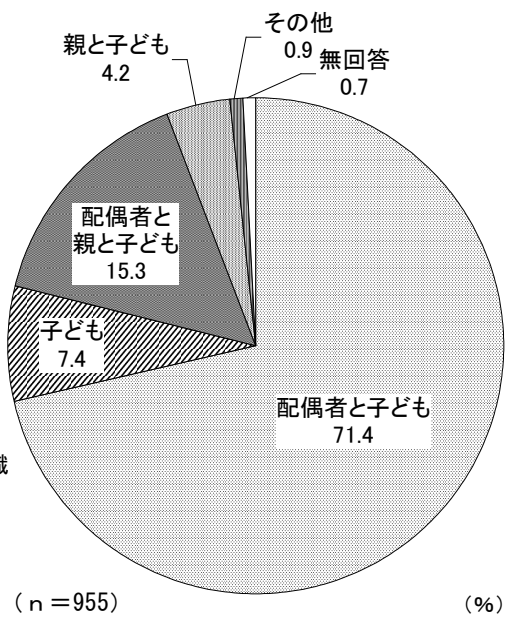




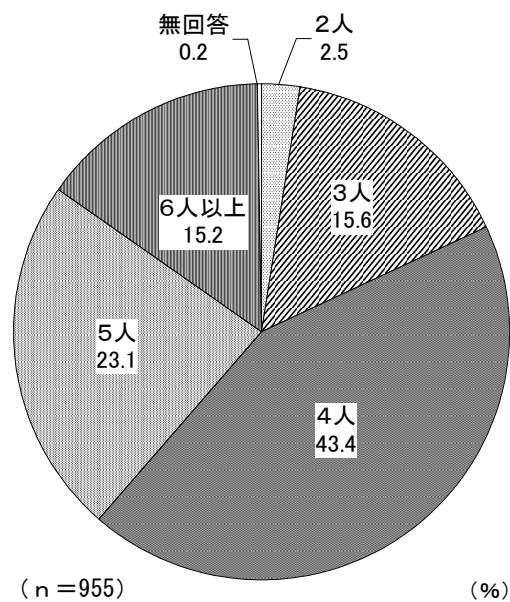
③職業



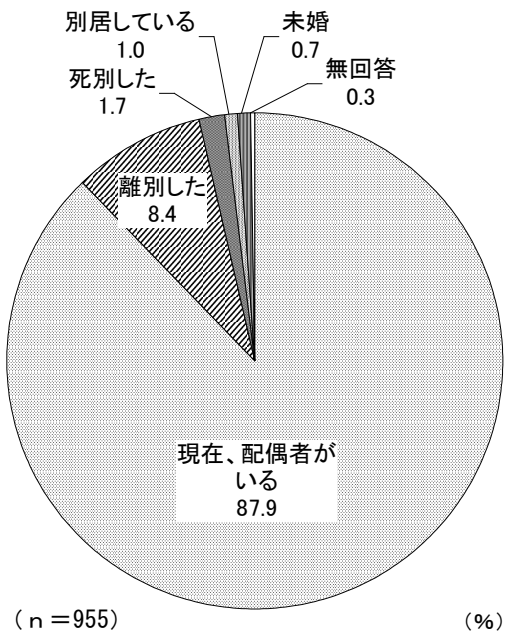
④世帯構成



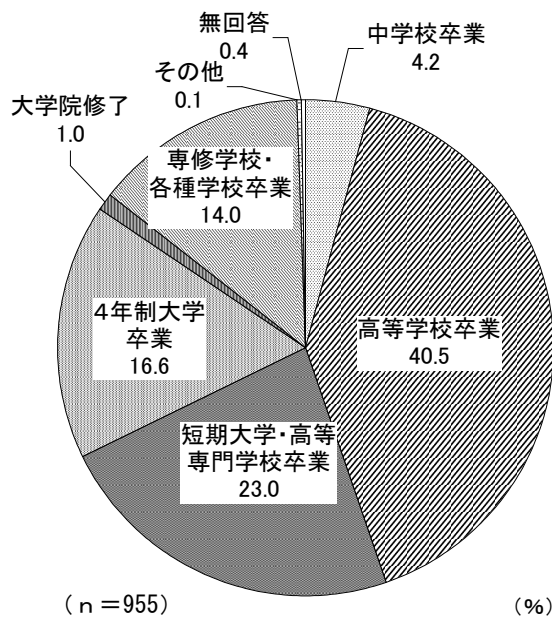
⑤同居家族人数



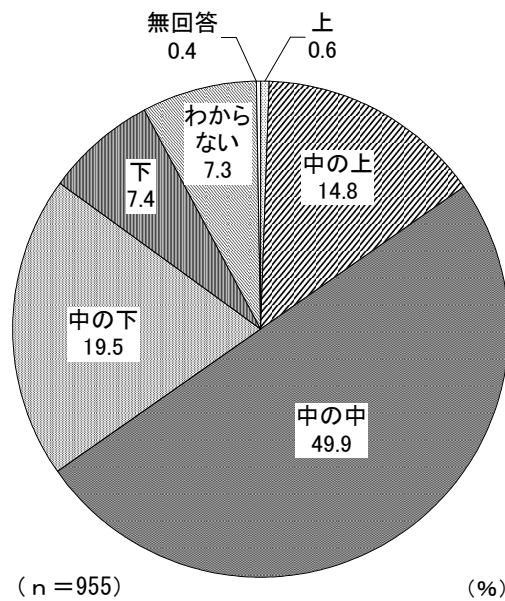
⑥未・既婚



⑦最終学歴



⑧生活程度



⑨居住地域

